

秋の防災交流会を ふりかえる

盛り上がりました!



穂本事務局長

今年の「秋の防災交流会」はあいにくの雨模様でしたが、多くの参加者が集い、和やかな雰囲気の中で実施されました。防災意識と地域のつながりを感じる機会となりました。



防災体験

防災は体験することが大切。清瀬消防署、清瀬市消防団第7分団の協力により、実践的に学べる防災プログラムを行いました。



ステージ

雨天のため演目の一部は中止になりましたが、子どもたちによるダンスなど、多彩な演目が会場を盛り上げました。



グルメ

焼き鳥や焼きそばに加え、甘酒やおしろいなども登場。清瀬市の物産品やオリジナルの「竹ノ酒」も好評でした。



バザー

日用品や雑貨などが並ぶバザーコーナー。思いがけない掘り出し物を探す楽しさが広がりました。

自治会 × 市長 が意見交換

きよせタウンミーティング

市民と市政をつなぐ対話の場として行われているタウンミーティング。その取り組みの広がりや、まちづくりへの活かされ方を紹介します。

地域の声を市政に届ける「きよせタウンミーティング」。自治会との意見交換を行う①「きよせタウンミーティング」をはじめ、②小・中学生や高校生、大学生と語り合う「(総称)次世代タウンミーティング」、③「障害者施設等タウンミーティング」など、多様な立場の声に市長が耳を傾けています。顔の見える対話が、よりよい地域づくりと市政運営につながっています。



タウンミーティングのお申し込みはこちら!



今では7自治会が連携する「チーム竹丘」。

防災交流会や見守り活動、地域イベントを通じて、世代をこえて支え合う関係が育まれています。

日常を支える、地域の取り組み

竹丘自治会連合「チーム竹丘」

世代をこえてつながる
竹丘の地域コミュニティ

チーム竹丘は、今年で14年目を迎える地域団体です。地域をもっと元気にしたいという思いから、中央自治会、第一・二自治会など7自治会の有志約32名が集い、「地域活性化」を目的に設立されました。現在は30代から80代まで幅広い世代が参加し、戸建て住宅に住むメンバーも多く、世代や立場をこえたつながりが特徴です。

主な活動として、音楽フェス「竹音」や「秋の防災交流会」など、誰もが気軽に参加できる地域参加型イベントを開催しています。防災交流会では、楽しみながら防災を学び、顔の見える関係を育むことを大切にしてきました。また、イベントだけでなく、年間を通して子どもたちの通学路を見守る

「朝の見守り隊」や、地域の安心を支える「防犯パトロール」にも継続的に取り組んでいます。

日常の活動が育てる
安心と支え合いのまち

こうした日々の活動は、特別なことではなく、できる人ができる時に関わるといった考え方を大切に続けられてきました。その積み重ねが、地域の信頼関係を育み、災害時や日常の安心につながっています。

穂本事務局長は、「地域のことは、無理しないで続けるのが一番です。顔を知っている人が増えるだけでも安心感は違う。若い人も、できることから関わってくれば、それで十分なんです」と話します。今後もチーム竹丘は、世代をこえて支え合いながら、地域に根ざした活動を続けていきます。